



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	宇都宮都市計画道路 3・4・306号中郷八木岡線 なかごうやぎおか 真岡市荒町～田町 あらまち たまち 荒町工区 L = 340m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

I 事業の概要

【目的】

本路線は、真岡市中心市街地を南北に貫き、医療拠点、駅及び観光拠点等へのアクセス道路であり、地域の生活と経済を支える重要な路線である。

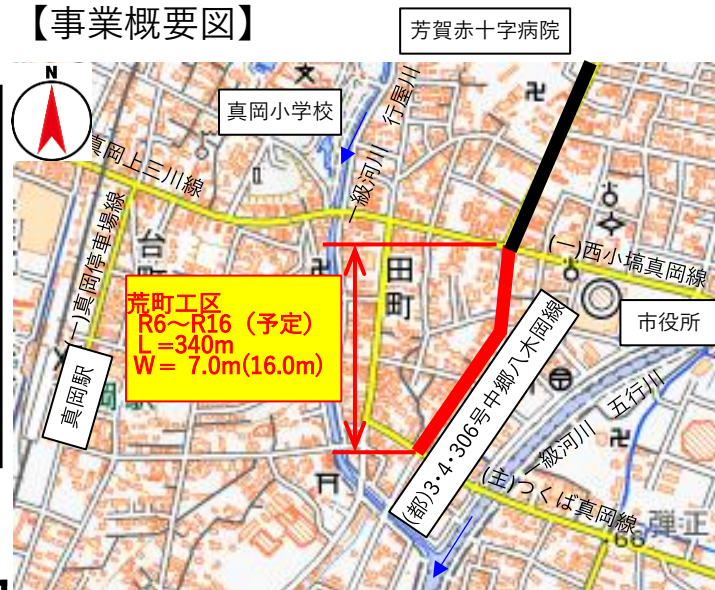
しかしながら、本事業区間は近隣小学校の通学路であるにもかかわらず、道路幅員が狭隘で、歩道がなく、電柱が林立しており、安全かつ円滑な通行空間の確保が求められている。

このため、本事業では、現道を拡幅し歩道及び路肩を整備することで安全で円滑な通行を確保するとともに、電線類を地中化して防災機能を高め、良好な街なみ景観の創出を図るものである。

【現況】

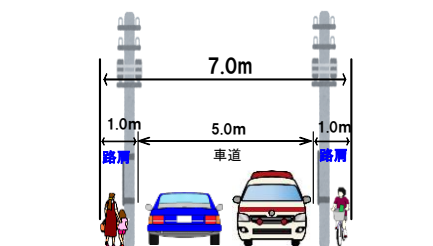
目標事業期間 (変更前)	令和6年度～令和16年度 (令和6年度～令和12年度)		
事業経過	令和6年度	事業化	
	令和6年度	用地着手	
	令和8年度	事業再評価 (今回)	
全体事業費 [うち用地補償費]	20.6 (11.4) 億円 [13.1 (7.2) 億円] ※ () は前回計画時		
事業延長 [うち整備済延長]	L = 340m [L = 0m]		
進捗率	基準年次：【令和8年度末時点】		
	費用	進捗率	
	既投資事業費	5.8億円	28%
	[うち用地補償費	5.0億円	38%]

【事業概要図】

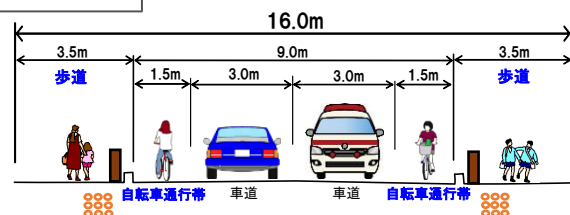


【標準横断面図】

現況



計画一般図



【箇所概要】



凡例

事業箇所

事業済箇所

II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

・ 事業期間の見直し
令和12年度 ⇒ 令和16年度

・ 総事業費の見直し
11.4億円 ⇒ 20.6億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(R5年度)

今回計画

	事業費	11.4億円 ⇒ 20.6億円 (+ 9.2億円)
内	工事費	4.2億円 ⇒ 7.5億円 (+ 3.3億円)
訳	用地補償費	7.2億円 ⇒ 13.1億円 (+ 5.9億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	-	電共、交安事業のため対象外	-
(2)残事業	-		-

2 事業の整備効果等

- ・ 歩道及び路肩の整備による歩行者・自転車の安全な通行空間の確保
- ・ 無電柱化による都市防災機能の強化
- ・ 「中心市街地リノベーション事業」と一体となり本事業を進めることによる真岡市中心市街地の活性化

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和8年度末時点

1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 28%
- 用地 38%
- 工事 0%

2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和16年度を目標に事業完了を図る。



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 土地区画整理事業と連携して整備しており、地権者の仮換地指定はすべて完了していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。